

顕彰事業の審査結果について

平成17年から会員(都府県方面遊協)の行った優れた社会貢献事業を顕彰する「社会貢献大賞」を実施し、マスコミ始め内外に多くの感動と反響を与えてきた。第5回の「社会貢献大賞」については、平成21年1月から12月までの一年間に行った社会貢献活動を対象として、都府県方面遊協が実施した事業のほか、規模は小さくとも地域への貢献度の高い支部組合や組合員ホールの実業を、事業の実施主体ごとに募集した。

1. 募集結果

2月末日に申請を〆切った結果、37都府県方面遊協から81件の申請があり、内訳は、都府県方面遊協が実施したもの31件、支部組合が実施したもの18件、組合員ホールが実施したもの32件であった。

昨年は35の都府県方面遊協から、実施主体別に、都府県方面遊協34件、支部組合25件、組合員ホール31件、合計90件の申請であり、支部組合が実施した社会貢献活動の申請が減ったのが特徴といえる。

2. 審査結果

3月18日の常任幹事による第1次審査会を経て、4月9日に「社会貢献活動審査委員会」(塩川正十郎委員長、脇田直枝委員長代行)が開催され、企画の独創性、実施効果、継続性、地域からの期待度などをもとに審査し、第5回社会貢献大賞の顕彰事業を決定した。社会貢献大賞の千葉県遊技業協同組合「『夢まるふぁんど』を中心とした総合的社会貢献」事業をはじめ、審査の結果と顕彰事業の詳しい事業内容については、この「社会貢献活動年間報告書」に記載されているので、会員相互の共有財産として今後の活動の貴重な資料として活用していくこととする。なお、結果的に顕彰には至らなかったものの、高く評価され、最終審査にノミネートされた事業は以下の通りである。

都府県方面部門

東京都遊技業協同組合

事業名:「『PIVOT基金』による青少年育成ボランティア団体の助成」事業

神奈川県遊技場協同組合

事業名:「福祉車輛の助成公募に伴う贈呈」事業

支部組合部門

・新潟県

新潟市遊技場組合

事業名:「老人福祉施設慰問元気回復」事業

・愛知県

一宮遊技業協同組合

事業名:「福祉施設入所者及び母子家庭の家族ら約280人を1日バス旅行に招待」事業

・愛媛県

中予地区遊技業防犯協力会

事業名:「少年の補導育成を主眼とした『愛の声かけパトロール』活動」事業

組合員ホール部門

・千葉県

株式会社カクタ

事業名:「地域社会に応える救急医療体制支援」事業

・愛知県

株式会社琥珀観光

事業名:「障害者施設に対する継続的な支援活動」事業

・兵庫県

株式会社ピーポケット

事業名:「児童養護施設入所児童支援」事業